



日本身体障害者補助犬学会 第15回学術大会

The 15th Annual Meeting of the Japanese Society of Service Dog Research

持続可能な補助犬の育成を考える

趣意書

主催：一般社団法人 日本身体障害者補助犬学会

<http://www.jssdr.net/>

ご挨拶

持続可能な補助犬の育成を考える

視覚に障害のある人を導く犬の姿は、古代ローマのポンペイ遺跡にも描かれているそうです。人が犬とともに暮らしてきた長い歴史の中で、ともに支えあい生まれてきた自然なかかわりの中から盲導犬をはじめ、多様な犬の役割が見出されてきたのでしょう。そういう意味で、犬と人の協同作業は数千年、数万年の時を経ても変わらない犬と人の絆の賜物ともいえます。

一方、科学技術が日に日に発展する現在、補助犬の役割の一部を担うような技術が利用可能になりつつあります。自分が思い描いた未来を歩むために、多様な選択肢があることは、人々の未来をより豊かにすることでしょう。そのため、科学技術が発展する中においても、数千年以上にわたり継続してきた犬と人の関わりから生まれた補助犬という選択肢も、引き続き利用可能であり続けることが期待されます。

そのためには、補助犬の育成に携わる人々の働き続けやすい環境にも配慮する必要があります。また、補助犬の生活（福祉）に対してもより一層の配慮が求められるでしょう。今後も補助犬を利用できる社会であり続けるために「持続可能な補助犬の育成」を考えるとときだと思い、本大会のテーマを設定しました。補助犬の育成に関わる方はもちろん、補助犬と生活する方、補助犬から派生して生まれた犬とかかわる方、その他多くの方々と一緒にこの大切なテーマについて考えていきたいと思っております。2019年から4年ぶりの完全対面での開催です。多くの皆様と直接お会いできますことを、心より楽しみにしております。



大会 HP:QR コード

日本身体障害者補助犬学会 第15回学術大会
(<https://supportoffice.jp/jssdr2023/>)
大会長 山本真理子
(帝京科学大学アニマルサイエンス学科 講師)



開催概要

1. 開催趣旨

科学技術が日に日に発展する現在、補助犬の役割の一部を担うような技術が利用可能になりつつあります。自分が思い描いた未来を歩むために、多様な選択肢があることは、人々の未来をより豊かにすることでしょう。そのためには、科学技術が発展する中においても、数千年以上にわたり継続してきた犬と人の関わりから生まれた補助犬という選択肢も、引き続き利用可能であり続けることが期待されます。

今後も補助犬を利用できる社会であり続けるために、本大会では、補助犬育成事業における「ワークライフバランス」、そして、「補助犬の福祉」について取り上げ、補助犬の育成に関わる方はもちろん、補助犬と生活する方、補助犬から派生して生まれた犬とかかわる方、その他多くの方々と一緒に「持続可能な補助犬の育成」という大切なテーマについて考える時間としたい。

2. テーマ

「持続可能な補助犬の育成を考える」

3. 主催、後援等（申請予定）

主 催：一般社団法人 日本身体障害者補助犬学会

共 催：公益財団法人日本盲導犬協会、公益社団法人日本聴導犬推進協会、
社会福祉法人日本介助犬協会

後 援：厚生労働省、国土交通省、身体障害者補助犬を推進する議員の会、東京都、八王子市

4. 開催方式

現地開催

5. 会期

2023年10月28日(土) 14:00 ~ 17:00

29日(日) 10:00 ~ 16:00

6. 会場及び所在地

東京たま未来メッセ（第1、2会議室）

〒192-0046 東京都八王子市明神町3丁目19-2

7. 学術大会参加対象、人数

学術大会プログラム 80名

補助犬訓練事業者、認定法人、補助犬使用者、医療従事者、福祉関係者、獣医師、
行政関係者、教育関係者、その他

8. 参加費:

学術大会プログラム

一般会員: 5,000 円

補助犬団体職員: 無料※

補助犬使用者: 3,000 円※

学 生: 1,000 円

一 般: 7,000 円

※より多くの補助犬団体職員、補助犬使用者の皆様に参加していただき、ともに持続可能な補助犬の育成について考えるために、本大会は特別な参加費設定としています。特に、シンポジウム「補助犬訓練と犬の福祉:IGDFとADIの共同声明について考える」は、すべての訓練事業者に関わる大切な内容であることから、補助犬団体職員の参加費は無料となっています。

ただし、会場のスペースに限りがあるため、参加者が定員に達した場合は、有料での参加者、ならびに、団体会員の職員の皆様に優先させていただきます。あらかじめご了承ください。

9. プログラム委員

大会長	山本 真理子	一般社団法人 日本身体障害者補助犬学会 理事 帝京科学大学 生命環境学部アニマルサイエンス学科講師
委員	荒川 由美子	アツヴィ合同会社
	佐野 智浩	一般社団法人 日本身体障害者補助犬学会 理事 公益財団法人 日本盲導犬協会 日本盲導犬総合センターセンター長
	篠崎 真理	社会福祉法人 日本介助犬協会 訓練部
	高柳 友子	一般社団法人 日本身体障害者補助犬学会 理事 社会福祉法人 日本介助犬協会 理事長(医学博士・リハビリテーション科医師)
	馳川 ゆきの	特定非営利活動法人 日本補助犬情報センター アクセシビリティ事業部長
	福井 良太	歩行指導員、社会福祉法人 日本介助犬協会アドバイザー
	水越 みゆき	公益社団法人 日本聴導犬推進協会 専務理事
	山川 伊津子	ヤマザキ動物看護専門職短期大学 動物トータルケア学科 教授
	吉田 文	一般社団法人 日本身体障害者補助犬学会 理事 大阪保健医療大学 保健医療学部リハビリテーション学科 教授

(五十音順)

10. プログラム ※プログラムは変更の可能性があります。あらかじめご了承ください。

市民公開イベント(第2会議室)

補助犬デモンストレーション 10月28日(土)12:00~13:00

補助犬紹介ブース 10月28日(土)12:00~17:00、29日(日)10:00~16:00

学術大会プログラム(第1会議室、大会参加登録者のみ)

大会長挨拶・来賓挨拶

大会長講演

「持続可能な補助犬の育成を考える」

演者:山本真理子(帝京科学大学アニマルサイエンス学科講師)

基調講演

「犬の性格と行動:動物心理学・行動学の知見から補助犬をみる」

演者:今野晃嗣(帝京科学大学アニマルサイエンス学科講師)

シンポジウム1

「補助犬育成事業におけるワークライフバランスの実現」(仮)

コーディネーター:山川伊津子(ヤマザキ動物看護専門職短期大学 動物トータルケア学科 教授)

パネリスト:

久我真澄(日本盲導犬協会)

篠崎真理(日本介助犬協会)

福井良太(歩行指導員、社会福祉法人 日本介助犬協会アドバイザー)

水越みゆき(公益社団法人 日本聴導犬推進協会 専務理事)

荒川 由美子(アツヴィ合同会社)

シンポジウム2

「補助犬訓練と犬の福祉:IGDFとADIの共同声明について考える」(仮)

コーディネーター:高柳友子(一般社団法人 日本身体障害者補助犬学会 理事/社会福祉法人

日本介助犬協会 理事長)

福井良太(歩行指導員、社会福祉法人 日本介助犬協会アドバイザー)

パネリスト:

田上静之(公益財団法人 日本盲導犬協会 理事/国際盲導犬連盟 理事)

山崎恵子(一般社団法人 日本身体障害者補助犬学会 理事/一般社団法人アニマル・リテラ

シー総研 代表理事)

水上言(社会福祉法人 日本介助犬協会 ゼネラルマネージャー)

海外育成団体の方からのコメント(予定)

一般演題発表

ポスター発表

懇親会 (10月28日(土)17:00~)

11. スケジュール

1日目

12:00~13:00 市民公開イベント「補助犬デモンストレーション」

14:00~14:10 大会長挨拶・来賓挨拶

14:10~14:40 大会長講演「持続可能な補助犬の育成を考える」

14:50~16:50 シンポジウム「補助犬育成事業におけるワークライフバランスの実現」(仮)

17:00~ポスターセッション(質疑応答)／懇親会

2日目

10:00~12:00 一般演題

12:00~13:00 休憩

13:00~14:00 基調講演「犬の性格と行動:動物心理学・行動学の知見から補助犬をみる」

14:00~15:50 シンポジウム「補助犬訓練と犬の福祉:IGDFとADIの共同声明について考える」(仮)

15:50~16:00 閉会／次回大会長挨拶

協賛募集要項

1. 募集内容

募集口数に応じ、以下4. I～IIの広告機会を提供します。

3口以上お申込みの場合は、ロゴマークのサイズアップ、抄録集広告掲載等、広告機会が多くなります。

3口以上のお申込みをできる限りお願い申し上げます。

2. 協賛（ご寄付）料金：1口50,000円（税込）

3. 募集期間

2023年8月1日（木）～10月1日（金）

4. 協賛口数による協賛（寄付）団体、企業様の表示方法・媒体

I. ウェブページ、及び学術大会会場において、プログラム前後・幕間にスクリーンに協賛企業ロゴマーク、社名を表示。

(1) 学術大会ウェブサイトトップページ上への社名・バナーの掲載

4口以上	3口	2口	1口
大 (300×100px)	中 (200×50px)	小 (150×50px)	



例：第14回学術大会ウェブサイトにおけるバナー掲載

(2) 学術大会会場における、プログラム前後・幕間のスクリーンへの表示。

4口以上	3口	2口	1口
動画広告・音声付きスライド等再生 (30秒以内)	音声なしスライド 静止画等 社名等を単独で表示	協賛企業一覧として社名・ ロゴを合同掲載	



例：第14回学術大会
会場スクリーン表示

注) イメージのため実際のサイズや掲載形式は異なります。

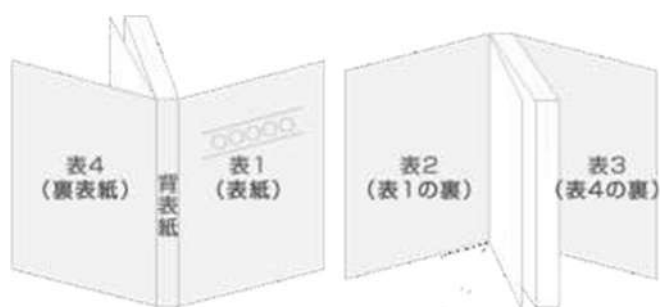
II. 学術大会抄録集（学会誌【日本補助犬科学研究】）への広告掲載

協賛口数に応じ、本大会講演抄録集に、協賛企業・団体として広告掲載をいたします。

- (1) 広告掲載媒体：日本身体障害者補助犬学会第15回学術大会学会誌・抄録集（会期14日前発行予定）
- (2) 配布対象： 日本身体障害者補助犬学会会員・行政・医療・福祉関係者等
- (3) 配布部数（版型）：約300部（A4版）
- (4) 発行日： 2023年10月14日（土）（予定）
- (5) 発行部数： 300冊
- (6) 広告申込締切：2023年9月30日（木）
- (7) 広告掲載ページについて
 - ① 広告A4版抄録集1 ページサイズ（4色・掲載は表4）：4口以上(先着1社限定)
 - ② 広告A4版抄録集1 ページサイズ（1色・掲載は表2）：2口以上(先着1社限定)
 - ③ 広告A4版抄録集1 ページサイズ（1色・掲載は表3）：2口以上(先着1社限定)
 - ④ 広告A4版抄録集1 ページサイズ（1色・掲載は後付）：2口以上
 - ⑤ 広告A4版抄録集1/2 ページサイズ(1色・掲載は後付)：1口以上

注) 上記①～③に関しましては、お申込多数の場合先着順とさせていただきますのでご了承ください。また④⑤の場合、掲載場所に関しましては主催者に一任とさせていただきます。

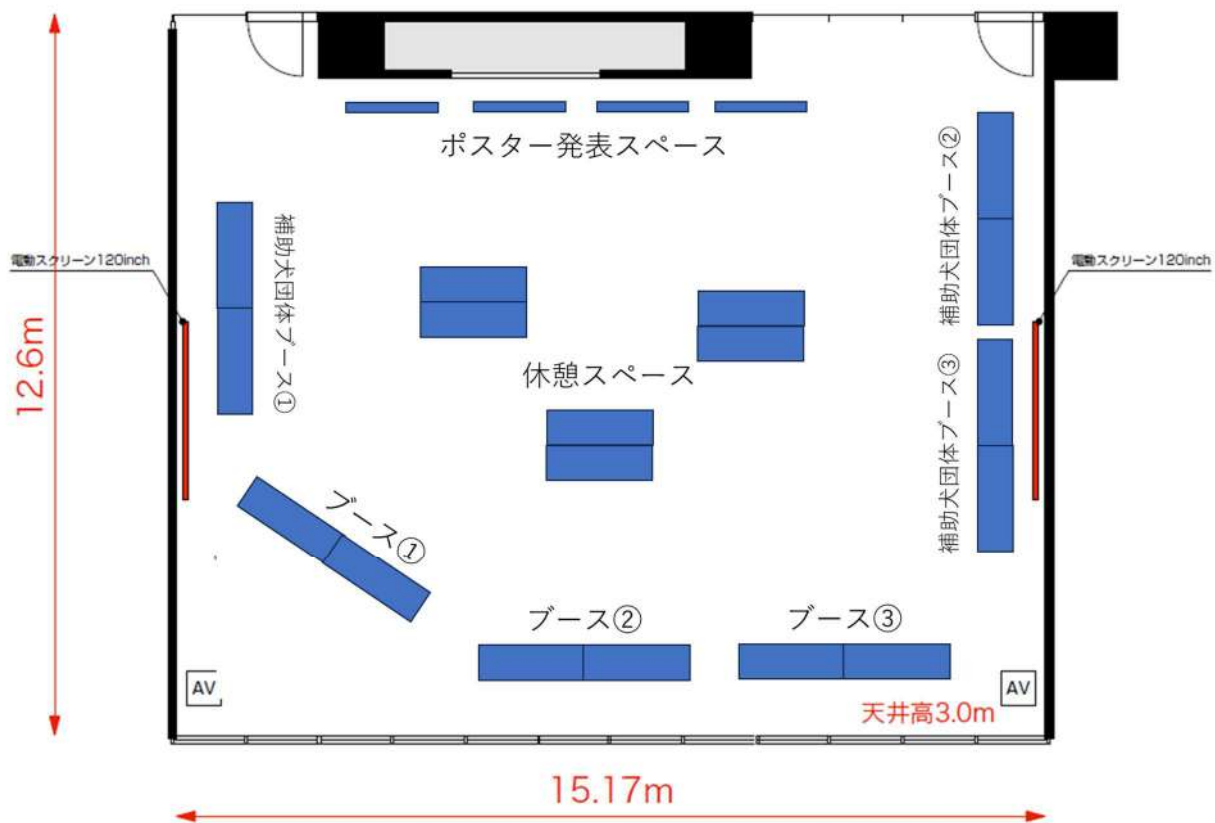
※広告掲載位置イメージ



111. 会場ブース設置

会場ブース設置 (2口以上) (ブース場所は口数と先着順にて決めさせていただきます)

会場イメージ図



<各種協賛申し込み方法及び協賛金振込口座>

5. 各種協賛金申し込み方法

下記サイトより必要事項をご記入の上、お申してください。

<https://supportoffice.jp/jssdr2023/>

注) 後日、別枠の協賛（例：最初に協賛を申し込まれて、後日、抄録集への広告掲載も申し込む場合等）をお申し込みされる場合は、同様に上記サイトよりお申し込みください。

注) 本学術大会への参加資格について

御協賛いただきました皆様に対しては本学術大会の講演会場および関連プログラムへの参加資格はありません。参加を希望される場合は別途参加申込を行って下さい。展示会場への出展者の入場制限はありません。

【連絡先】

日本身体障害者補助犬学会 第15回学術大会運営事務局

6. 協賛金振込口座

■ 銀行名： みずほ銀行

■ 店番： 061

■ 店名： 飯田橋支店

■ 預金種目： 普通

■ 口座番号： 3073876

<口座名義（漢字）> 日本身体障害者補助犬学会学術大会

<口座名称（カナ）> ニホンシンタイシヨウガイシヤホジヨケンガツカイガクジユツタイカイ

データ入稿方法：

- ①入稿データ（バナーデータ・リンク先URL）を1つのzipファイルにまとめてください。
- ②zipファイル名は必ず【正式企業名称（団体名）】にしてください。
- ③下記URL より【ファイルを選択】もしくは【パソコンから選択】をクリックしてアップロードしてください。 <https://www.dropbox.com/request/wKHV4H46yYohCpkTeosQ>

※専用boxのため、運営事務局以外は閲覧やダウンロードはできません。

入稿締切日：2023年10月7日(木)までにご入稿ください。

データ入稿規定：

(1) 動画掲載

企業PR 動画、音声付きスライド等を広告として掲載可能

- 1) データ形式：MP4（720p以上/アスペクト比16:9）
- 2) データサイズ：2GB まで
- 3) 動画の長さ：30 秒以内
- 4) 必要口数：4 口以上

(2) 静止画掲載

企業フライヤー、製品カタログ等を掲載可能

- 1) データ形式：PDF
- 2) データサイズ：10MB まで
- 3) 必要口数：3 口以上

(3) ロゴ・社名掲載

学術大会ウェブサイトトップページ・会場スクリーンへの社名・ロゴの掲載

- 1) データ形式：png / jpeg / ウェブページ掲載のみ、gif（アニメーション）も可
- 2) データサイズ：3MB まで
- 3) 必要口数：1 口以上

(4) 抄録集広告掲載

- 1) データ形式：PDF/X-4
- 2) データサイズ：10MB まで
- 3) 必要口数：1口以上

過去の学術大会

第 1 回

大会長:竹前 栄治(東京経済大学 名誉教授)

開催日時:平成 18 年 1 月 29 日(日)

開催場所:国立身体障害者リハビリテーションセンター学院講堂

第 2 回

大会長:池本 卯典(日本獣医生命科学大学 学長)

開催日時:平成 19 年 6 月 23 日(土)・24 日(日)

開催場所:日本獣医生命科学大学

第 3 回 メインテーマ:「人と犬の絆・補助犬」

大会長:山崎 薫(日本身体障害者補助犬学会 理事・学校法人ヤマザキ学園 理事長・学長)

開催日時:平成 21 年 10 月 17 日(土)・18 日(日)

開催場所:ヤマザキ動物看護短期大学

第 4 回 メインテーマ:「より永く、より幸せに ~補助犬に求められる獣医学~」

大会長:鷺巣 月美(日本獣医生命科学大学 獣医学部 臨床病理学教室 准教授)

開催日時:平成 23 年 10 月 29 日(土)・30 日(日)

開催場所:日本獣医生命科学大学

第 5 回 メインテーマ:「身体障害者補助犬法:次の 10 年に向けての提言」

大会長:三浦 靖史(神戸大学大学院 保健学研究科 准教授)

開催日時:平成 24 年 10 月 27 日(土)・28 日(日)

開催場所:宝塚ソリオホール

第 6 回 メインテーマ:「補助犬のウェルビーイング~健康と福祉を考える~」

大会長:林 一彦(日本大学松戸歯学部 特任教授)

開催日時:平成 25 年 10 月 26 日(土)・27 日(日)

開催場所:日本大学 松戸歯学部校舎棟

第 7 回 メインテーマ:「人にも動物にもやさしい社会をめざして ~2020 年に向けて~」

大会長:高柳 友子(医師・社会福祉法人日本介助犬協会 事務局長)

開催日時:平成 26 年 9 月 20 日(土)・21 日(日)

開催場所:中部国際空港セントレア

第 8 回 メインテーマ:「補助犬が拓く 楽しい旅、やさしい社会 ~2020 年に向けて~」

大会長:秋田 裕(日本身体障害者補助犬学会 理事長)

開催日時:平成 27 年 10 月 31 日(土)・11 月 1 日(日)

開催場所:羽田空港 国際線旅客ターミナル 4F TIAT SKY ホール

第9回 メインテーマ:「ユニバーサル社会と補助犬 ～障害者差別解消法をふまえて～」

大会長:神沢 信行(甲南女子大学 看護リハビリテーション学部 教授)

開催日時:平成 28 年 10 月 29 日(土)・30 日(日)

開催場所:神戸大学 先端融合研究環統合研究拠点 コンベンションホール

第10回 メインテーマ:「補助犬の福祉を考える ～幸せな使用者を支える幸せな犬たち～」

大会長:山崎 恵子(公益社団法人 日本聴導犬推進協会 副理事長)

(特定非営利活動法人日本補助犬情報センター副理事長)

開催日時:平成 29 年 10 月 28 日(土)・29 日(日)

開催場所:アオーレ長岡 市民ホールA

第11回 メインテーマ:「世界を翔る補助犬使用者 -2020 オリパラに向けて-」

大会長:菊地 尚久(リハビリテーション科医師・医学博士・千葉県千葉リハビリテーションセンター 副センター長)

開催日時:平成 30 年 10 月 6 日(土)～7 日(日)

開催場所:成田国際空港第2ターミナル4階 有料待合室(成田空港)

第12回 メインテーマ:「旅と補助犬 ～泊まる・食べる・集う 快適な過ごし方を支える背景とは～」

大会長:山本 護 (株式会社京王プラザホテル 代表取締役社長)

開催日時:令和 元年 10 月 5 日(土)～6 日(日)

開催場所:京王プラザホテル 4階 錦

第13回 メインテーマ:「すべての人が暮らしやすい街に“できること”を考える」

大会長:川村 慶(川村義肢株式会社 代表取締役)

開催日時:令和 3 年 11 月 20 日(日)～12 月 31 日(金)

開催場所:Web 開催(オンデマンド配信)

第14回 メインテーマ:「犬と人をつなぐ、人と社会をつなぐ補助犬 ～人にも動物にもやさしく楽しい社会をめざして～」

大会長:高柳 友子(社会福祉法人日本介助犬協会 専務理事)

開催日時(対面):令和 4 年 12 月 10 日(土)

(Web):令和 4 年 12 月 17 日(土)～令和 5 年 1 月 31 日(土)

開催場所:中部国際空港 セントレアホール、イベントプラザ他/ Web 同時開催(オンデマンド配信)

過去の学術大会写真記録

第7回学術大会(2014年)実施報告(ご参考)

●市民公開講座 9月20日



スペシャルトーク:安藤美姫さん・大日方邦子さん 補助犬デモスペシャルトーク:狩野亨さん

●学術大会 講演 9月21日

<基調講演>
 スーザン・ダンカン看護師
 (元ナショナルサービスドッグ 所長)

<航空関係者向け車椅子セミナー>



<シンポジウム>

「すべてのお客様に快適なおもてなしを ～私達の取り組み～」

黒沢 直子氏

日本航空プライオリティ・ゲストセンター

「補助犬受け入れの取り組みと今後について」

野口 浩一氏

株式会社オリエンタルランド CS 推進部

「テーマパークにおける補助犬受け入れと今後について」

荒尾 和史氏

中部国際空港株式会社 取締役執行役員 空港運用本部長

「中部国際空港のユニバーサルデザイン」



第8回学術大会(2015年)実施報告(ご参考)

● 10月27日 航空関係者向け補助犬受け入れセミナー 羽田空港 ANA ホール



● 10月31日 補助犬デモンストレーション

羽田空港国内線第1旅客ターミナルビル 2階「マーケットプレイス」



羽田空港国際線旅客ターミナルビル 4階「江戸舞台」スペシャルゲスト 安藤美姫さん



●10月31日 補助犬使用者向け 羽田空港体験ツアー



●11月1日 学術大会講演

<シンポジウム>

演 者: 田中穂積氏 (日本旅行協会 バリアフリー旅行部会 部会長)

「障害者差別解消法と旅行業界の対応」

垣内俊哉氏 (株式会社ミライロ代表取締役社長)

(一般社団法人日本ユニバーサルマナー協会代表理事)

「旅行業界におけるユニバーサルマナー」

大槻正伸氏 (ANA おからだの不自由な方の相談デスク 主席部員)

「おからだの不自由なかたへの空の旅へのお手伝い」



指定発言: 介助犬使用者 佐藤美樹&介助犬・いろは

第 11 回学術大会(2018 年)実施報告(ご参考)

<プレイベント> 補助犬使用者向け成田国際空港体験ツアー

2018 年 10 月 6 日(土) 12:00~14:00 成田国際空港 第 1 および第 2 ターミナルビル



<市民向け公開講座>

2018 年 10 月 6 日(土) 15:00~17:00 第 2 ターミナル 3F スカイリウム(ステージ)



<学術集会>

2018年10月7日(日) 第2ターミナル 4F 有料待合室 A-2・3



第12回学術大会(2020年)実施報告(ご参考)

<市民向け公開講座>

2019年10月5日(土) 15:00~17:30 京王プラザホテル 4階 錦



<ユニバーサルルーム・補助犬トイレ見学会>

2019年10月5日(土) 17:30~18:30 京王プラザホテル



本館30階(ユニバーサルルーム)・南館3階ロビー外側(補助犬トイレ)

<学術集会>

令和元年10月6日(日) 京王プラザホテル 4階 錦



第13回学術大会(2022年)実施報告(ご参考)

<市民向けプログラム:介助犬のひろば>

令和3年10月20日(水)~11月19日(金)



<川村義肢株式会社 見学ツアー>

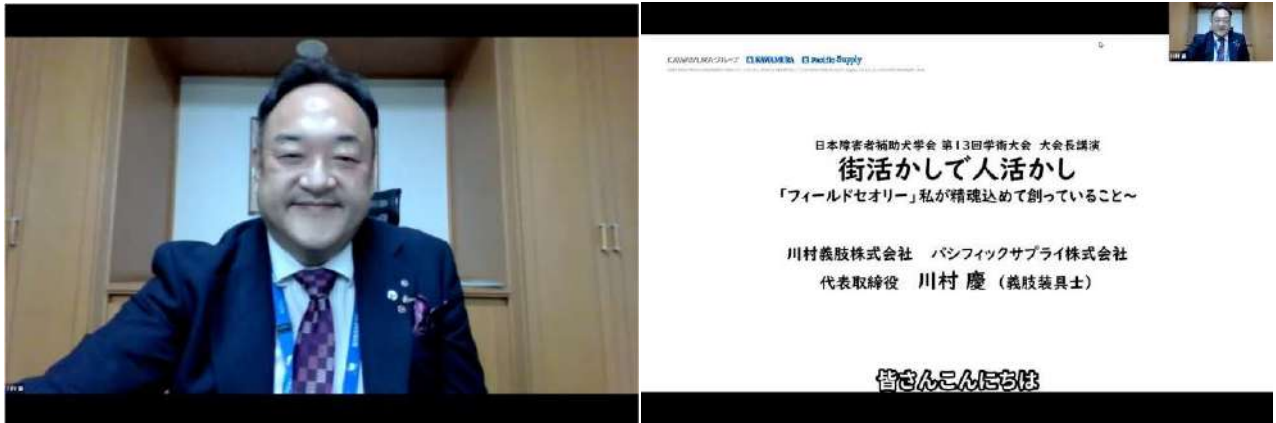
令和3年11月19日(金) 14:00~15:00 ライブ配信



令和3年11月21日(日)~12月31日(金) オンデマンド配信

※動画はすべて字幕付きで配信

【大会長講演】



The screenshot shows a video lecture interface. On the left is a video feed of the speaker, a man in a dark suit and tie. On the right is a presentation slide with the following text:

日本障害者補助犬学会 第13回学術大会 大会長講演
街活かして人活かし
「フィールドセオリー」私が精確込めて創っていること〜

川村義肢株式会社 パシフィックサプライ株式会社
代表取締役 川村 慶 (義肢装具士)

皆さんこんにちは

【基調講演】



The slide features a central title and several images of dogs. The text reads:

第13回日本身体障害者補助犬学会基調講演
2021年11月オンライン開催

**リハビリテーション科医が語る
犬の素晴らしさ**

リハビリテーション科医師
(兵庫医科大学リハビリテーション医学講座)
道免和久

On the right side of the slide is a photograph of Dr. Wakiwa Kazuhisa smiling next to a golden retriever.

【シンポジウム1】



This block contains four posters related to Symposium 1:

- Top Left:** Title slide for the 13th Academic Conference Symposium 1, featuring the logo of the Japanese Association of Guide Dog Users and the text: 「身体障害者補助犬の質の確保と受け入れを促進するための研究」報告 ~2019-2020年度厚生労働行政推進調査事業~
- Top Right:** Research report titled 「身体障害者補助犬訓練事業と他の身体障害者社会参加支援施設との比較制度研究 (2020年度研究報告)」 by 小澤 暉 (筑波大学大学院・人間総合科学学術院).
- Bottom Left:** Poster titled 「身体障害者補助犬を使用する障害者の需要推計方法の検討と試算」 from the National Center for Rehabilitation Information.
- Bottom Right:** Research report titled 「障害者就業総合研究事業 身体障害者補助犬の質の確保と受け入れを促進するための研究に際して」 by 国立障害者リハビリテーションセンター 研究科.

【シンポジウム2】

「コロナ禍における補助犬訓練事業のホンネと取り組み」

主催者：日本身体障害者補助犬協会 第13回学術大会 シンポジウム2

公費提供先：北海道庁、日本身体障害者補助犬協会、愛媛県バレー協会、加藤一、公益財団法人 日本身体障害者補助犬協会、愛媛県/伊予川訓練センター、山口博之、公益財団法人 九州身体障害者補助犬協会、福岡グループ、長瀬、秀光、公益財団法人 日本身体障害者補助犬協会、有馬学園、本城、本城、公益財団法人 日本身体障害者補助犬協会、訓練部長/シンシアの丘センター、本上、貴、コーディネーター 本学畜産部/原野友子

「コロナ禍における補助犬訓練事業のホンネと取り組み」

はい、皆さんこんにちは。

まとめ

- 1) コロナ禍で出来なかったこと
→ 不特定多数の方に向けた視覚障害者・聴覚障害者・肢体障害者、犬アソビの訓練、道が定められない状況、自費訓練等の障害者対応
- 2) コロナ禍で初めて出来るようになったこと
→ リモートコミュニケーション、リモートワーク（メリットあり）
- 3) 障害特性上のコロナ禍での困難
→ 遠隔化・ハイリスク、マスク着用困難、犬類（一部）隔離、コミュニケーション
- 4) 新たに取り組み始めたこと
→ リモート対応、SNS、YouTube等の発信拡大：発信力向上
- 5) 皆さんに知って頂きたいこと
→ 見えないこと、マスクを着けて目の動きが見えないこと、マスクの着用ができていない人がいること、障害があることでより多くの困難を克服していること

SNSやYouTube等の発信で発信力は、

【ショートレクチャー】

「できる」「あきらめなくてもいい」を実現するモノづくり
川村 誠哉の川村でございます

地域で闘う理学療法士たち
日本理学療法士協会 北海道長
北海道理学療法士会 会長
株式会社スイッチオンサービス
代表取締役 理学療法士 石川 樹哉

ショートレクチャー
日本一補助犬使用者にやさしい街づくり
2022年11月21日-12月21日
日本身体障害者補助犬協会
第13回学術大会
日本身体障害者補助犬協会
代表取締役 理学療法士 原野 友子

義肢装具の歴史
川村義肢歴史展示室紹介
2022年11月21日-12月21日
日本身体障害者補助犬協会
第13回学術大会
川村義肢株式会社 代表取締役 原野 友子

ほんまはどうなん？
障害者の就労と雇用
KOBUNZAIグループ
特別支援科/ソフトウェア情報
入道 正志

令和3年度
日本身体障害者補助犬協会
第13回学術大会
ショートレクチャー
★ 自宅でイキイキ体も心も程々に!! ★
ペットツォーガにチャレンジ〜
国体大学 作業療法専攻
理学療法士 山口 裕典

日本介助犬協会によるDOG INTERVENTION
～AAA/AAAT、付添犬など～の取り組み
伊予日本介助犬協会 村上 貴

身体障害者補助犬で繋がる！
OT・PTのネットワークの構築
北海道福祉文化センター 研究員 OT 本島 直子